

令和八年度花巻市総合文化財センター企画展

早池峰神楽

— 研究史からたどる岳神楽と大償神楽 —



山の神面
(岳神楽系)



山の神面
(大償神楽系)

2026年 9/19(土) ~ 11/23(月)

■ 企画展関連イベント 講演会 「早池峰神楽の継承と伝播」

日 時：2026年11月15日(日) 13:30 ~ 15:00 場所：花巻市総合文化財センター体験学習室

講 師：中嶋奈津子氏(佛教大学総合研究所特別研究員・同大学非常勤講師・岩手県文化財保護審議会委員)

その他：申込不要 講演会当日は入館料無料

花巻市総合文化財センター

〒028-3203 岩手県花巻市大迫町大迫3-39-1 TEL 0198-29-4567

開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)

休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)

入館料 大人200円 小中高生100円(花巻市内の小中高生無料)



HP





令和八年度花巻市総合文化財センター企画展

早池峰神楽

— 研究史からたどる岳神楽と大償神楽 —

2026年 9/19(土) ~ 11/23(月) 9:00~16:30

月曜日(祝日の場合は翌平日)休館

花巻市総合文化財センター

〒028-3203 岩手県花巻市大迫町大迫3-39-1 TEL 0198-29-4567

開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで) 入館料 大人200円 小中高生100円 (花巻市内の小中高生無料)

稀なる美しさ

早池峰神楽は、花巻市大迫町内川目地区に伝わる岳神楽と大償神楽の二つの神楽の総称です。山伏によって舞継がれてきたといわれる早池峰神楽は、舞の中に「能」大成以前の古い民間芸能の要素を残し、中世芸能の香りを伝える稀有な神楽として、一九七六(昭和五一)年に国の重要無形民俗文化財第一号に指定されました。また、二〇〇九(平成二一)年には、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。本年は、早池峰神楽が国の重要無形文化財に指定されてから、五〇年の年になります。

早池峰神楽は、民俗芸能研究者・本田安次により、広く世に知られました。およそ百年前の一九三一(昭和六)年八月、本田は、早池峰神社で岳神楽の舞の美しさに深い感銘を受けます。また、同年一二月には、大償神楽の舞振りの優雅な手に、このような神楽が残っていることは一つの奇蹟であるとも述べています。これを端緒に本田の調査研究は、一九四二(昭和一七)年の『山伏神楽・番楽』の刊行、早池峰神楽の文化財指定、ユネスコ無形文化遺産への登録につながっていきます。

本展では、日本の芸能研究の黎明期とその発展期に重なりといわれる本田の研究をたどり、「稀なる美しさ」と表現した早池峰神楽の姿を探ります。また、美術史家であり、民俗芸能を主体とした地域研究の第一人者として知られる森口多里の研究成果もたどります。

本田と森口の目に映り、感じ取った早池峰神楽の記録を展示紹介します。



吉川保正 大償神楽山神(盛岡市先人記念館蔵)

企画展関連イベント 講演会 「早池峰神楽の継承と伝播」

日時：2026年11月15日(日) 13:30 ~ 15:00 場所：花巻市総合文化財センター体験学習室
講師：中嶋奈津子氏(佛教大学総合研究所特別研究員・同大学非常勤講師・岩手県文化財保護審議会委員)
その他：申込不要。講演会当日は、入館料無料。